



傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと
～移転と合併のご報告～
- ◆越智産業株式会社様との連携について
- ◆大切な家は自分で守る
～外壁改修について～
- ◆鉄筋コンクリートについて
- ◆省エネ補助金について
～ZEB・ZEHってなに?～
- ◆ゴルフ始めました
- ◆新卒採用始めました
- ◆社員名鑑
- ◆会社情報



今、伝えたいこと ～移転と合併のご報告～

新しい年度が始まりました。いかがお過ごしでしょうか？

突然ですが、皆さまにご報告があります。弊社は福岡市東区香椎に拠点を置き、事業を展開してまいりましたが、この度、福岡市中央区舞鶴へ移転することに致しました。きっかけは以前より懇意にいただいている方からのご紹介でした。当初は、その立地から、事務所移転ではなく、ホテル建設を検討していたのですが、私なりに時期や規模を分析した結果、ホテルよりも、事務所移転が好ましいと判断するに至りました。

移転するビルは古いものであるため、今後、耐震化を伴う改修を行いますが、その前に現事務所である香椎から一部を移転させます。その時期は7月中旬を予定しており、その後、耐震化、改修を進めながら、年内を目処に完全移転を考えております。なお、移転に際して、グループ会社の小野設計、田中建築設計室を合併し、株式会社傳設計に一本化することとしました。

3社合併により、より一層の社員の意思統一や、事務作業の縮減・効率化を図ってまいります。グループ会社の2社はもちろん、弊社の社員にも一人ひとり異なったバックグラウンドがあります。それは、設計を生業とする会社として非常にプラスだと思っておりますが、会社として大事な部分は意思を統一していくべきだとも思っています。そのためには、時間をかけてでも、対話することが何より大切であり、それにはやはり物理的な距離をなくすことがいちばんです。今回の移転・合併は今の我々にとって必要なものであると考えたのです。

一方、ビルには以前から入居されている企業さんが今もいらっしゃいます。そのことをどこかにおいて、当初はいつあれをして、これをしてと自らの考える事業計画を推し進めようとしていました。常々「周りの方を大事にしたい」と口にしていても関わらず、それができていないことに気付かされ、反省したところでした。ビルの所有権が弊社に移ったのは事実ですが、今までの経緯や今まで携わってくださった方々を大事にした上で、今後は省エネや維持管理など手厚く対応したいと思えます。結果、それが弊社の経験値となり、将来のクライアントに還元できることになると考えています。(代表取締役 岩本 茂美)



★決意新たに★

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

行ってきました、人間ドック。とりあえず大きな問題はありませんでしたが、やはり内臓脂肪が増えていたり、肝臓の数値が悪くなっていたり…。改めて飲みすぎを痛感しました。「前にも聞いた」なんて言われそうですが、こゝ、今度こそ本気で改善します！



★とはいえお付き合いも大切★

★越智産業株式会社様との連携について★

我が国では、平成22年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されました。木造率が低く今後の需要が期待できる公共建築物にターゲットを絞って、国が率先して木材利用に取り組むとともに、地方公共団体や民間事業者にも国の方針に即して主体的な取組を促し、住宅など一般建築物への波及効果を含め、木材全体の需要を拡大することがねらいとされています。それに伴い、建築物の木造化・木質化に対してのご要望や問い合わせもあり、弊社でも、木造に力を入れたいと思っていました。

今回その内の一つである木造住宅補強設計業務のお話をさせていただきます。熊本の震災以降、弊社では木造建築物の耐震診断業務、補強設計業務に多く携わっておりますが、耐震診断及び補強設計において、お客様への負担を軽くするために、設計者として、金額と工法の検討を重視しています。例えば耐震補強の場合、ほとんどがお客様が住みながらの施工となるので、生活への配慮が重要になります。具体的には室内側へは入らずに屋外側から壁や窓の補強を行う方法や、室内から壁の補強を行うものの天井や床を撤去せずに見えている壁に面材を貼り付けて補強する方法等があります。

を、連携によってご協力いただいている次第です。今後も越智産業様を通じて業務の範囲を広げていきたいと思っております。(八尋)



★外部補強材 (YKK AP株式会社) ★

その様なところに、この度、建築資材住宅設備機器等の販売をメインで扱う越智産業様と「非住宅の木造・木質化」普及に関して連携して進めていくこととなりました。耐震補強・施設改修・マンションのリノベーションなど、その他の分野でも連携

設計業務を進めながらさまざまな補強方法、補強部材の情報を集めるのはたいへん困難であり、その点

建物の中で重要な部位である、外壁についてお話いたします。

外壁は建物の中でも大きな面積を占め、長年に渡って気温・日光・雨・風(潮風)・湿気等の環境の変化にさらされるため、どうしても経年劣化が進行します。仮に、日々のメンテナンスを何も施さなかった場合は、表面のコンクリート、サイディング、タイル等にひびや浮き、反り、剥落等が起きるリスクが高くなる。あるいはこのような劣化を早める可能性があります。それでも放置すると建物内部にその劣化の影響が侵入することになります。そうならないように、外壁でその劣化を食い止めることが重要です。一般的に戸建てによく採用されるサイディングは10年からの周期で塗装の塗替えが推奨されています。これは塗膜が上記に述べた環境にさらされた結果、劣化するからです。こ



の塗装塗替え周期は目安であるため、その土地の環境や日頃のメンテナンスで変わってきます。

今回は塗装塗替え等以外で居住者自身が実施可能な外壁の寿命を延命する方法を一部紹介いたします。まず一番手軽にできるのは掃除です。汚れが溜まったまま放置すると劣化を早めてしまいますので、定期的に柔らかめのブラシやスポンジで行うとよいでしょう。それでも汚れが落ちない場合は、高圧洗浄機を使用するとよいでしょう。最近ではホームセンターや某テレビショッピング

等でも手軽に入手できます。

続きまして最近よく見られるようになり、壁面緑化等(緑のカーテン)で外壁を保護し、長寿命化を図る手法です。例として挙げると甲子園球場のツタがその役割を果たしています。外壁保護や省エネ対策だけではなく、美観的にも緑が建物を引き立ててくれます。ゴーヤやヘチマ、アサガオ等たくさん種類があるので気に入ったもので始めてみると違った面でも楽しめると思います。(石戸谷)



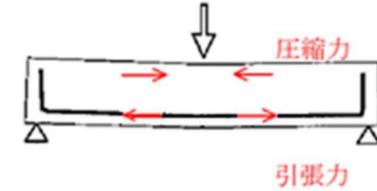
★大切な家は自分で守る！～外壁改修について～★

傳設計 設計業務

NEW&HOT TOPIX

★鉄筋コンクリートについて★

私たちの身近な存在である鉄筋コンクリートのお話をさせていただきます。読んで字の如く、鉄筋とコンクリートを組み合わせたもので、圧縮には強いですが引張に弱い性質のコンクリートを鉄筋で補強した建材です。また、さびやすい材料である鉄筋がコンクリートによって覆われるため長い間、強度を発揮することができます。(右図)



★鉄筋コンクリートに加わる力★

この2つの材料は互いの弱点を上手く補い合っており、単体では実現できない高い耐久性を得られるこ

と、型枠の形状次第で自由な形を作れることから建築において最も一般的な建材として利用されています。その他にも耐火性、遮音性に優れるといった特徴を兼ね備えているのですが、設計と施工が適切に行われていないと一転して非常に脆いものに成り変わってしまいます。

鉄筋コンクリート造の建築を行う際の注意すべき項目として、かぶり厚さ(コンクリート表面から鉄筋までの厚み)がきちんと確保できているかが挙げられます。コンクリートのかぶり厚さが不足していると保護しているはずの鉄筋が早期にさびて

しまったり、火災の際に熱を受けて構造として成り立たなくなったりするのです。加えて、鉄筋がさびて膨張し、表面を押し抜けてコンクリートが落下するといった危険も生じます。

生活を守る建物が凶器になってしまうようなことは決してあってはなりません。そのような事態が起こってしまわないように、扱うものの性質はきちんと把握したうえで、建築の設計に携わっていきたく思います。(林)



★庇裏の鉄筋さびによるコンクリート剥落★

マネジメントシステム)装置の導入および断熱、空調、照明、再エネ等の導入を支援するもので、補助率は補助対象経費(設置費等)の2/3以内または1/2以内となります。規模や用途により、環境省が実施しているものか経済産業省が実施しているもので補助率が異なります。

最近、省エネ化を促進する動きが日に日に活発になっているため、来年度も再来年度もこのような補助事業が行われると予測されます。



弊社でも対象建物の計画があり、補助金を狙って積極的に省エネ化を行っています。予算に余裕ができて、設計の自由度が上がる、つまり、少しでも多くのご要望を叶えることが可能になります。

新築はもちろん、改修でも補助金の対象になりますので、ご興味がある方は、ぜひご相談ください。(才田)



★ZEBのイメージ★

★省エネ補助金について～ZEB・ZEHってなに？～★

★ゴルフ始めました★

先日、ショートコースを9ホールまわってきました。「春のゴルフコンペに参加するように。」と社長に言われ、少しは練習しましたが、ほんの数回。ゴルフ場デビューがコンペでは不安すぎるため、ゴルフ場のコース体験をしたのです。1番ホール緊張の一打目。コロコロコロ。120ヤード程のホールですが、グリーンにのせるまでに4、5打。グリーンにのってもカップインするまでに行ったり来たり、行ったり来たり。カップインのあの“コロ”という音が聞きたいのに、「はい、OK」と社長の声がかかりそこで終了。ホールが進んでいくうちにボールが飛び始めパーで終わる者もいましたが、私は、あまりの酷さにくじけそうになりました。

春の風と日差しを浴びながらの芝の上はとても気持ち良く、何とか最終ホールまでたどり着きましたが、身体よりも精神的に疲れた一日でした。コンペは3月20日。どんな一日になるのか…また、ご報告します。(岩本(玲))



★打ちっぱなしでの練習風景★



★海に臨むショートコースでした★

社員名鑑 vol.26



氏名:川西邦允
社歴:2年8ヶ月
所属:設計1部
主な業務:意匠設計
趣味:サッカー観戦をするのが好きです。応援しているチームの勝ち負けによって、気分が上がり下がりする程です。

中学生の頃、将来私が進学することになる大学のキャンパスが丁度建設されており、建築により街が拓かれていく過程を目の当たりにしたのが、建築に興味を持ったきっかけでした。

設計の仕事の面白いところは、自分の頭の中にあるものが実際の大きなものとして作り上げられることにあると思っています。もちろん、お客さまの非常に大きなお金扱う為、責任とプレッシャーは常についてきます。守備範囲が広く、学ぶべきことも多いですが、仕事に追われてばかりでなく、日々鍛練を重ねていきます。早いもので来年度で社会人7年目となり、弊社の中では上から数えた方が早い年齢となりますので、後輩にも頼られる先輩でありたいと思います。

★新卒採用始まりました★

4月になり、弊社は今年も新入社員を迎え、入社式、研修と慌しくしているところです。新入社員には、会社のことを覚えるためにも、電話対応やお客様へのお茶出しなども行っていただいています。皆さまに失礼のないよう、指導してまいりたいと思います。新旧社員とも、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

さて、このニュースレターを書いている3月現在、来年度入社の新卒採用が始まりました。冒頭で社長よりお話いたしましたとおり、弊社は今年予定しております移転や合併を含め、その他さまざまな面で会社が変わっている最中です。そのなかで、ベテラン社員だけでなく、若手社員にも大きな期待を寄せており、実際に若手社員にもさまざまなことを任せている会社です。一緒に頑張ってください！次回、4月14日(土)に会社説明会を行います。ご興味のある方はぜひご連絡ください。お待ちしております！(澤田)



★1年目電話対応中★



★昨年の会社説明会の様子★

◆ 編集後記 / / 前号や年賀状で
◆ ‘coming soon’ ともったいぶって申し上げていたのに、早くも本誌冒頭にて社長が話してしまいました。そういうわけで、これから移転・合併で、弊社はしばらく
◆ 慌ただしくなりそうです。中央区ですので、皆さんにお越しいただきやすくなる
◆ と思います。完全移転は年末あたりの予定ですが、移転しましたら、ぜひお立ち寄りください。/ニュースレターのご意見・ご感想、お待ちしております！(澤田)



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH. & ENG. OFFICE

<本社>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL:092-672-8538 FAX:092-672-8559

<サテライトオフィス>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-12-41 302

TEL:092-692-4555 FAX:092-672-8559

